

令和6年度 家庭科 第1学年 年間指導計画・評価計画

目標				<ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割と中学生に必要な栄養を満たす食事の計画・実践ができるようになる。 ・基本的な調理技能を身につけて実践できるようになる。 ・日常食の調理と和食、地域の食文化に関心を持てる。 ・生活を豊かにするもの手順を理解して工夫して製作することができる。 					
学期	月	元単	時	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価資料	
1 学期	4	ガイダンス	1	○小学校家庭科の学習を振り返るとともに、3学年の学習内容の見直しをもつ。 ○自立と共生について考える	○自分の成長に関わる家族のはたらきを理解している	○家族とのかかわりについて問題を見いだして課題を設定している。	○中学校での学習内容に興味をもち、3年間の見直しをもととしている。	提出物 授業参観 定期考査	
				A 家族・ 家庭生活	1 自分の 成長と 家族・ 家庭生活	3	○自分の成長と家族や地域の人びとのかかわりと自分自身の理解を深める。 ○家庭での活動を考え、家族・家庭の基本的な機能について理解する。 ○自分や家族の生活は家庭内や家庭外の活動が支えていることに気付く。 ○家族には互いの立場や役割があり、協力することで家族関係をよりよくできることを理解する。	○家庭や家族の基本的な機能、家庭生活と地域との関わりについて理解している。 ○家庭や家族の重要性に気づき、家族の一員として自分ができることを理解している。 ○家庭生活が地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。 ○家族の互いの立場や役割について理解している。 ○家族と協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。	○家族とのかかわりについて解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。
	B 衣生活	3 生活を 豊かに する もの の 製 作	2				○布を用いて生活を豊かにするものを作る。 ○製作の計画を立て、手縫いで生活を豊かにするものをつくる。 ○生活を快適にし、資源や環境に配慮したりするなど、自分や家族地域の人の生活を豊かにするための物を製作する。 作品：針さしコースター	○製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	○資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。
				6	B 食生活	1 と 食 事 の 慣 れ 2 中 学 生 に 必 要 な 食 事	2	○食事の役割について理解し、毎日の食事に興味をもつ。 ○中学生の時期の身体的特徴を理解し、中学生に必要な栄養の特徴がわかる。 ○食品は栄養的特質により食品群に分類されることが理解する。 ○中学生が1日にとりたい食品と分量を知る。 ○1回の食事を目で見て栄養のバランスがとれているか判断できるようにする。	○生活の中で食事が果たす役割について理解している。 ○健康によい食習慣について理解している。
	7	3 さ ま ま ざ ま な 食 品 の 選 択	4					○新鮮食品の特徴がわかる。 ○目的に応じて新鮮食品を選択・保存できる。 ○加工食品の特徴がわかる。 ○目的に応じて加工食品を選択できる。 ○食品を選択するとき、食品の安全や情報に関心をもって選択できる。	○日常生活と関連付け、用途に応じた新鮮食品の選択について理解しているとともに適切に選択できる。 ○日常生活と関連付け、用途に応じた加工食品の選択について理解しているとともに適切に選択できる。 ○食品の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切に選択できる。
				9	4 日 常 食 の 調 理	9	○肉の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、肉を調理することができる。 ○魚の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。 ○野菜の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。	○食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ○材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ○魚に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ○野菜に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。	○日常の1食分の調理の仕方や調理計画について問題を見いだして課題を設定している。 ○日常の1食分の調理の仕方や調理計画について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。
	11	B 食生活	5 地 域 文 化				1	○地域で生産される食材を知り、それを使う意義と和食の調理を理解する。 ○伝統食であるお正月料理について知る。	○地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。
				12	1 生 活 の 課 題 と 実 践	1		○今まで学習してきた「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」の中からほかの内容とも関連させて課題解決に向けて計画を立て実践できる。 ○実践したことをまとめ、発表し、よりよい生活にするための新たな課題を見つげ次の実践につなげられる。	○自分や家族の衣生活や環境について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。
	3 学期	2	6 献 立 つ く り				2	○持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。	○1日分の献立を作成する方法について理解している。
				3	7 食 生 活 可 能 な	3		○持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。	○社会や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定している。 ○社会や環境に配慮した食生活について考え、工夫している。
	総時数		35						